

視聴覚教育

NO. 374

発行日

23. 7. 19

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

視聴覚用語
『デバイスドライバ』
 周辺機器を動作させるためのソフトウェア。最近のOSは適切なデバイスドライバを自動的にインストールする「プラグアンドプレイ」機能を搭載しており、ユーザーがドライバを導入する負担を軽減している。

映像のもたらすもの

視聴覚ライブラリー副所長 宮田典彦

三月十一日の「東日本大震災」が東北地方の沿岸部にもたらした壊滅的な被害は、多くの人々の心に深く刻み込まれました。被災された方々には、心よりお見舞いを申し上げます。

地震直後に発令された津波情報は、注意報から警報に変更され、東京のビルの一部から火の手が上がっている映像が写し出されました。東北地方よりも東京の状況から、地震による被害の甚大さを知ることになりました。地震によつて発生した巨大津波が東北地方の海岸地域を襲う映像が生中継されました。その光景に言葉を失い、立ちつくした人も多かったことでしょう。

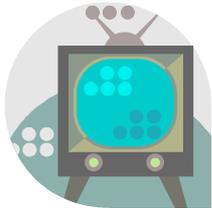
自然の持つ底知れぬエネルギーの不気味さが、映像から伝わってきました。震災に関連した映像は、それを視聴した多くの人に強く大きな影響を与える結果になりました。

震災後、被災地で家族や自分のアルバムを探す人々の様子が、多くのマスメディアで報道されました。泥に埋もれ、水に浸かった写真を大切に抱く姿から、写真のもつ記録性とともな

そのときそのときの出来事の思いや存在感を確かめる媒体であることを改めて感じるようになりました。

このように映像の多くは、広範囲な影響を与えます。さらに、心にイメージを写し出す媒体として大きな機能を備えています。一方、今年で八十九歳の瀬戸内寂聴氏が、テレビのインタビューで「震災にあつた被災地を、自分の目で見て感じたい」と語られていました。映像はあくまでも媒体の域を出ていないことも、事実であるようです。

今月二十四日からは、テレビ放送が地上デジタル放送に完全移行されます。今後、高画質の映像が多く提供されるでしょう。映像は、奥深さを備えています。ですから、映像制作者としては、事実をどのように伝えるか。学校現場では、教材として何を学ばせるのか。また、子供たちが映像を多面的に見る目、見抜く目を養いたいものです。今まで以上に考慮しなければならぬでしょう。



視聴覚教育あれこれ

校内放送実技講習会

岡崎市内小中学校の校内放送担当の児童生徒と教師を対象に、アナウンス講習会を実施します。

【日程】 7月27日（水）

【場所】 福祉会館6階

講師は、岡崎市出身の東海ラジオのアナウンサー川島葵（あおい）さんです。

授業力アップセミナー【基礎編】

【日程】 8月3日（水）

【場所】 六名小学校

【内容】 教材ソフトを使った学習指導の進め方、パソコンを使った視聴覚教材の制作

第28回NHK杯全国中学校放送コンテスト

7月2日（土）NHK名古屋放送局で中学校放送コンテストの愛知県大会が開催されました。岡崎市の中学生も参加し、素晴らしい成果を収めました。おめでとうございます。

朗読部門

- ・ 最優秀賞 北中学校 齋藤 朋香
- ・ 優 秀 北中学校 高原 溪
- ・ 優 良 六ツ美北中学校 加藤 遥
- ・ 入 選 六ツ美北中学校 山内 美有

アナウンス部門

- ・ 入 選 北中学校 中谷 仁美
- ・ 入 選 北中学校 富澤 優香

ラジオ番組部門

- ・ 優 秀 六ツ美北中学校 文芸部
 - ・ 入 選 北中学校 メディア部
- （最優秀賞・優秀賞・優良賞は全国大会へ出場します）



ライブラリーだよ

実践報告Ⅱ

スペース キーボードを使って

山中小学校 大柿 峰樹

昨年度から、ローマ字の学習が四年生から三年生になった。ローマ字を覚えて読む練習は三年生でも楽しくできた。しかし、書く練習になると、アルファベットを使ってローマ字の練習をノートにしていくなか、三年生ではなかなか上手に書くことができない。アルファベットの書き方を直してばかりで、なかなか楽しくローマ字を書く練習ができなかった。

そこで、パソコン室のソフト『スペース キーボード3』を使って指導することにした。タッチタイプの基本、タッチタイプの練習では、指に色が付いてキーボードの位置を覚えてくれる。また、タイムアタックでは、自分の覚えたローマ字を確認するとともに、タイピングの速さに挑戦できる。個々が、目標を持って楽しくローマ字の学習をすることができた。最後に、ネットタイプレースでは、子どもたち同士でリーダーを決めたり、参加メンバーになったりして、友達と競争しながら楽しく活動することができた。



ローマ字使ってきれいに書けるようにはならなかったが、ローマ字を覚えようという意欲は高まり、よく読むこともできるようになった。さらに、ローマ字入力による文字入力のよい練習の機会にもなった。

レッツ・トライⅡ

情報モラル・ネット社会の歩き方

情報モラルの授業は、何度やってもやりすぎるといいことはない。「事例で学ぶNetモラル」は、大変使いやすい教材である。しかし、教材の数が限られているため、別の教材を探さなければならない。そんな時には「ネット社会の歩き方」(<http://www.ccc.or.jp/net-walk/>) はとてもよい教材である。

小学生のコーナーには、アニメーションが十四本ある。どのアニメーションも、音声と吹き出しで分かりやすくまとめられている。

今回は「大人向けの情報に注意」という話を教材として利用した。成人向けサイトを軽い気持ちで見ているという内容である。ところどころでアニメを止めながら、主人公はどこで間違えたのかについて話し合いを進めた。子供たちは、①情報をきちんと読まずにクリックしてしまったこと ②成人のみのサイトだと分かっていても入ってしまったこと、などに気付くことができた。

アニメーションだけでなく「電腦商店街」など、ネットショッピングを学ぶことができるページもあり、情報モラルの授業の幅が広がる。是非、活用したいサイトである。

(本宿小学校 学習情報主任 宮北 治美)



視聴覚教材・機材のご相談は

気軽に視聴覚ライブラリーへ!

視聴覚ライブラリーでは、映像教材や視聴覚関係の機材の貸し出しを行っています。貸し出しの希望だけでなく、「こんな教材はあるか」という問い合わせや、「こんなことをしたいけど、機材は何を使えばいいか」、「ケーブルのつなぎ方は」といった相談などもOKです。視聴覚教材や機器について、気軽に視聴覚ライブラリーまでお問い合わせください。

ちょっと便利なライブラリーの機材

是非ご利用を

●CD・DVDコピー機(デュプリケーター)
パソコンを使わずにCD・DVDを同時に十枚ほどコピーできる機器です。ライブラリーには三台あります。配布用のディスク作成時に利用すると便利です。

●DVDライター

VHSテープや8mmビデオテープ、ミニDVDに記録した映像を直接DVDにダビングできます。ライブラリーは、三台所有しており、一台は常設し、二台は貸し出し用になっています。

